

県における自動走行の取り組みに 市としてどのように関係していくのか

「あいち自動運転推進コンソーシアム」に加入し、
事業への参加を進める



平松 昭徳
市民クラブ

市役所の改善活動について

- 問** 事務事業などの改善活動に関して、市としての見解は。
- 答** 限られた経営資源の中で行政運営を行うために、不可欠な活動であると捉えている。
- 問** 改善活動研修を継続していくために、今後どのように取り組んでいくのか。
- 答** 課内で選考した改善は課内全員で実践していく。職員が参加しやすい、面白みがある工夫をしかけ、改善活動研修の浸透を図っていく。
- 問** 整理・整頓における市役所の現状は。
- 答** 業務に支障がでるような状況ではないが、十分になされていないところもある。
- 問** 4S（整理・整頓・清掃・清潔）を定着させるための具体的な方法を実施する予定は。
- 答** 他市の取り組みの事例も参考にし、より効果的な方法を検討していく。

自動車の自動走行について

- 問** 市が実証実験から得たものは。
- 答** 自動走行に対する諸条件を整えることにより、交通弱者や高齢化、交通事故など、社会・交通問題を解決する手段の一つになり得ることを検証できた。
- 問** 愛知県における自動走行の取り組みに、市としてどのように関係していくのか。
- 答** 「あいち自動運転推進コンソーシアム」に加入し事業への参加を進める。



- 問** 地域で活動している健康づくりリーダーを各市民館に配置して健康教室を実施できないか。
- 答** 現在の健康づくりリーダーの人数では、全市民館に配置することはできない。健康教室などの依頼があった場合には、調整して市民館に向いている。他に健康づくりのための出前講座も実施している。多方面で連携をとりながら、地域での健康づくりを支援していきたい。
- 問** 田原地域には民間のフィットネスジムがあるが、渥美地域にはない。渥美地域に健康づくりの拠点施設を整備する考えは。
- 答** 新たに渥美地域に民間のフィットネスジムのような施設を、市が整備していく考えは持っていない。地域にある市民館などを利用して、健康づくりを進めていきたい。

